

各山域毎の現状と問題点 山岳ガイド

聞き取り対象：北海道の山岳ツアーガイド3社

【Q】登山口および山中のトイレ設置・管理状況

- ・利用する側としては、ツアー客のほとんどが、50歳代の女性ということもあり、日帰りのツアーなどでは、下山するまで我慢している人も多い。日帰りの山では、トイレがなくて困ったということはない。不便さは感じていない。汚いトイレは使いたがらない。きれいなトイレが必要なのでは。処理方法も、浸透式ではなく、汲み下ろしや、バイオトイレなどのほうが良いのでは。
- ・特に人がよく入っている百名山、ニーズに対して、トイレの設置が少ないと思う。管理状況は概ねよくないと思う。特に人が集中する山の登山口、掃除が綺麗にできているところもあるだが、快適に利用できる場所は少ない。
- ・ひどい所はトムラウシ南沼と美瑛富士避難小屋。裏旭は岩の陰がひどいが、何か設置しないと隠れる所が無くて女の人が困るんじゃないのかな。野営指定地は概して汚れが目立つ。登山道の浸食も含めて利尻がひどい。

【Q】登山口および山中での紙・し尿の散乱状況

- ・トムラウシの野营地などは、目立つ。
- ・まだ紙が散らばっているし、屎尿に関して、人の目につかない大きいな岩の影、深いハイマツに中とか、特定の場所に集中するケースが多いと思う。去年に比べて、紙が若干に減らした印象を受けている。
- ・ゴミは以前よりなくなった、綺麗になったと感じる。

【Q】その他登山利用による影響で問題視していること

- ・水質。これまで道内では、平気で沢水を飲んでしたが、大腸菌の検出がみられる水場もあるような話もきく。今後道内でも、水質に不安。
- ・登山ブームで、山に対する知識や経験の乏しい素人が入ってきている。山のルールがわかっていない。体力に見合わなかったり、装備の不十分など。手提げカバンや見るからに軽装であったり、地図も持たず、食料ももたず。何ももっていず、上がってきた人にねだるような人もたまにいた。
- ・写真を撮るために、登山道以外に立ち入ったり、ゴミもみえないように捨ててあつたりすることが見られる。
- ・登山道の侵食、広がり。
- ・7月の大雪、利用の集中する季節となり、山小屋、野营地では、混雑している。
- ・登山道の浸食。放置の結果だと思う、何か手立てをしなくちゃ同じことの繰り返しになる。国と道の予算は厳しいけれども予算づけが大切。入山規制にもっていくのはどうか、そうならないように考えたい。

【Q】現在実施しているトイレ問題の対策の内容と課題

- ・ガイドする場合、登山口や山中にトイレがないような山では、登山口への到着前に周辺の駅などに寄り、用を済ませていくようにしている。
- ・樹林帯以上で、トイレのない所では、携帯トイレを必ず使用する。大の方は必ず携帯トイレを使用すること。小の方は、特に指定していないだが、参加者の中、使用する方もいるし、使用しない方もいる。
- ・トイレペーパーを回収すること。お客さんは、山の現状を理解し、協力している。樹林帯を超えない場所に泊まる場合はあまりない。その場合は麓で用を済ますとか、また、樹林帯の中で済ます。
- ・行政へ。登山口周辺で仕事をしている人(民間)の声に耳を傾けて、周りの目から考えて欲しい。
- ・携帯トイレについて。配布は紹介しているが実効性はどうか。上川支庁の報告を聞いたがすごく回収が少ない。当社としては登山の前に携帯トイレを紹介している。ご利用いただく場合は使い方をよく周知すべき。山中泊の場合、携帯トイレのポイ捨てで二次公害化する心配がある。旭岳、黒岳は回収BOXがあるのでもいいが、他には無い。設備もないので使うのに困るのではないかな。旭岳のトイレブースは隙間があって見える、中に入って携帯トイレを持っていない人はまた困る。掲示板で携帯トイレの案内などもっと必要。

【Q】今後目指したい対策の方向性

- ・トムラウシなど、山中泊が必要な山では「きれいなトイレ（みんなが使用したいと思えるようなトイレ）」の設置が必要なのでは。
- ・作るべきところでトイレ管理までの予算つけ、施設を作ってほしい。例えば、羅臼平、南沼、人が集中する百名山の登山口、幌尻など。また、入山者数の設定も考えていきたいと思います。
- ・目指すところは必要な所の設置、汲み取りも予算付けしたらどうか。トイレの形態（浸出かバイオか）についてはよく分からない。

【Q】不足していると感じている情報

- ・トイレの情報 「登山口にトイレありますか」と問い合わせがある。登山口や、登山道だけでなく、周辺地域のトイレ情報もあったほうが良い。（登山口にトイレがないとしても、近くにあることがわかっていたら、がまんして下山することができるのでは）
- ・上川支庁からは携帯トイレ回収や配布協力を依頼されたが協力できることと出来ないことがあった。しかし現状については前向きに理解されるようになってきている。携帯トイレについてのメリットデメリットも分かってきている。道議会でも話が出ていたがいろいろな問題を含み携帯オンリーではないと思う。携帯は利用について周知されていないし、かなり先の話ではないか。

【Q】考える会への要望

- ・「トイレに行くことが悪いこと」になってしまうのではと危惧しています。
- ・活発的に動いているので、活動に評価する。要望としてはそろそろ具体的にどこかでトイレを設置する、もっと積極的に動いてほしい。活動に協力する。
- ・一生懸命やっていると思う、考える会の唯我独尊にならないような活動を期待したい。携帯トイレも自宅に持って帰ってくれるんだったら構わない。